

会 議 記 録 用 紙

会議名	第4回西宮市高齢者交通助成事業のあり方検討懇話会		
日時	平成24年11月12日(月) 午前10時から	場所	西宮市役所東館8階804会議室
出席者	委員：座長 新川 達郎、副座長 太田 康嗣、田中 弘子、北島 進、 末川 賀鶴子、片倉 早苗、福壽 明、頭井 秀子 事務局：健康福祉局長 中尾 敬一、福祉総括室長 廣田 克也、福祉部長 太田 垣 博志、健康福祉計画課長 岡本 一人、高齢福祉課長町田 竹之		
会議の公開・非公開	公開	傍聴者	0人
内容(概要)			
<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 高齢者交通助成事業の今後のあり方について</p> <p>高齢者交通助成事業の今後のあり方について事務局より説明。 高齢者交通助成事業の今後のあり方について意見が挙げられた。 主な意見は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請方式を導入したらどうか。 ・所得制限の導入は、所得と一人ひとりのニードとは必ずしも対応していないと思うので実際的ではないのではないか。 ・高齢者のよりよい健康・長寿に向けた目的の一環として外出支援というものがあれば、どの施策にどのように事業費を振り分けるのかという観点からこの交通助成事業を位置づけるべきで、事業レベルというよりは施策レベルで俯瞰的に物事を考える視点を市はもってほしい。 ・抜本的な見直しのためには、縦割りではなく横の広がりというか、他の部局と連携をして庁内での新たな検討体制を作っていくという方向性をもって、これから取り組んでいただきたい。また、ロジックモデルやシナリオシンキングなど庁内横断的に検討できるような手法を検討してほしい。 ・高齢者交通助成事業は、高齢者に喜んでいただいている期待の高い事業であるが、自助・共助といったところにもっと目を向けてそうしたところから事業の組み立て直しをしてはどうか。 ・ボランティアや様々な中間支援の仕組みが今こうした問題に取り組んでいる。そうしたところにもっと力をつけていただく、そのための応援を行政もしていくそんな方向が一つあるのではないか ・高齢者が社会参加をする場づくりがとても大事で、そういうところにもっと力を入れてもいいのではないか ・今後の見直しの工程についても、向こう3年間でこれまで積み立てられていた基金の枯渇が見込まれる中で、改めて抜本的な見直しをしないといけないので、計画的に進めていただきたい ・見直しには事業の効果測定が重要になってくる。対象となる方々の意向調査がベ- 			

スになると思うが、トータルな意味での市民サービスの質向上という観点から交通助成事業の話だけでなく、健康の問題や外出の問題を考えていかないといけない、そのためには情報をきちんと把握して、効果測定を考えていかないといけないのではないか。

(2) 今後の懇話会の検討結果の扱いについて

高齢者交通助成事業の今後のあり方、方向性については、最終的には報告書の形式でとりまとめる予定。